



東北大学

2010年9月8日

報道機関 各位

東北大学大学院生命科学研究科

**国際宇宙ステーションの日本実験棟「きぼう」を利用した
生命科学実験のすべて**
(宇宙生物科学者が仙台に集合)

< 概要 >

今回、はじめて、これまでに国際宇宙ステーションの日本実験棟「きぼう」で宇宙実験を実施した日本の生命科学研究者が仙台に集まり、研究成果を発表すると同時に、生物に対する無重力と宇宙放射線の影響に関する宇宙実験の成果を市民に公開します。

1. 日本宇宙生物科学会第24回大会(平成22年9月17-18日、東北大学片平キャンパス生命科学総合研究棟)
日本宇宙生物科学会第24回大会の一般発表とシンポジウムにて、東北大学の5件を含む20件以上の宇宙実験が紹介されます。植物は宇宙環境で発芽・成長して花を咲かせて実をつけるか、生物にとって重力はストレスか、生物は宇宙放射線を浴びるとどうなるか、宇宙で骨や筋肉の萎縮がどのように起こり、それをどのように防げるかなど、最新の宇宙実験の成果について発表・議論します。
2. 市民公開講演会「ナノから宇宙へ、大きく広がる生命の科学」(平成22年9月19日午後1時30分から3時45分まで、東北大学片平キャンパス生命科学総合研究棟) 無料(どなたでも、自由に参加できます)
宇宙環境を利用した生命科学研究成果と意義を、わかりやすく解説します。
講演1: 生命機能と水 ―謎いっぱい筋肉の仕組み―
東北大学大学院工学研究科・教授 鈴木 誠
講演2: 小さなモデル生物を用いた宇宙実験
東北大学大学院生命科学研究科・教授 東谷 篤志
講演3: 宇宙から見てこそ気づく“いのちの大切さ”
奈良県立医科大学・特任教授 大西 武雄

日本宇宙生物科学会第24回大会、市民公開講演会ともにメディアによる取材・報道を歓迎します。

(お問い合わせ先)

東北大学大学院生命科学研究科

担当: 東谷篤志、高橋秀幸

電話番号: 022-217-5715 (東谷) 022-217-5714 (高橋)